4 緑の募金の推進

（1）緑の募金活動の実施

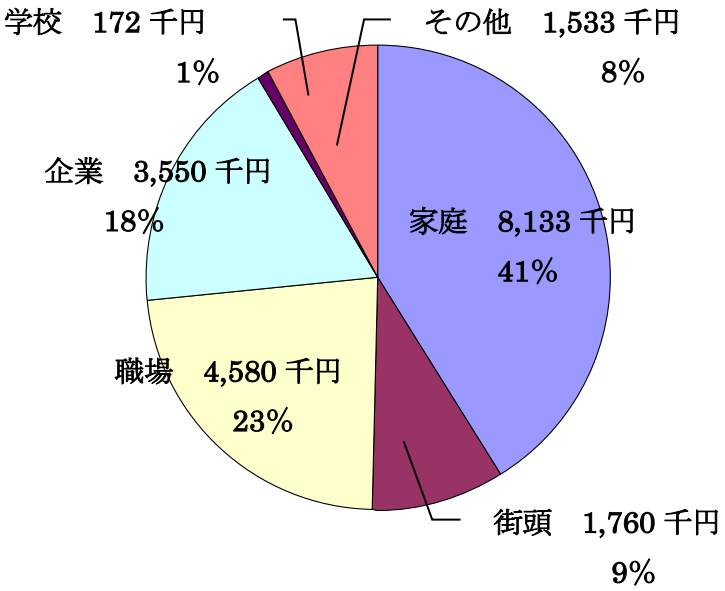
21 年度は、北山杉の間伐材や木の枝を加工等を活用した木のマグネットやコースターなどのオリジナル募金グッズを用意し、緑の募金への協力を呼びかけるとともに、各地のイベントでも幅広く募金活動を展開した。また、企業等の協力により、緑の募金寄付型自動販売機の設置や緑の募金キャンペーンを実施し、これらの活動の結果、**前年度を8.1%上回る 19,730,255 円の募金**が寄せられた。

期	目標額	春期募金実績	秋期募金実績	合計	前年比
H21	**20,000,000 円**	**15,713,844 円**	**4,016,411 円**	**19,730,255 円**	**108.1%**
H20	20,000,000 円	14,963,309 円	3,280,168 円	18,243,477 円	107.2%
H19	20,000,000 円	14,350,716 円	2,671,045 円	17,021,761 円	111.4%

＜緑の募金に寄付をいただき協会から感謝状を贈呈した企業等＞

京都府ホンダ会（486 千円）
京都トヨペット㈱（214 千円）
ﾋﾞｭｰﾃｨｰｸﾗﾌﾞｼﾞｭﾋﾞﾗﾝ（290 千円）

緑の募金の方法別内訳



木製小物で緑の募金

・ **企業のCSR活動の一環としての募金活動**

企業 CSR 活動の一環として、積極的に緑の募金キャンペーンを展開いただいた。

＜キャンペーン＞

・京都トヨペット㈱：プリウスの試乗回数に応じて募金

・京都府ホンダ会：自動車販売台数に応じて募金

・日本パーツ：緑の募金シンボルマーク入りＴシャツの販売

・住商フルーツ：Eco バナナの販売数に応じて募金

キャンペーンちらし

・ **飲料自動販売機で募金活動**

飲料会社と自動販売機設置オーナーとで契約後、毎月、売上に応じて緑の募金を寄付いただいており、現在、府内 49 社の協力を得て設置されている。平成 21 年の自動販売機による募金額は 1,282,356 円となっている。

【協力飲料会社】

ダイドードリンコ㈱、近畿ペプシコーラ販売㈱、㈱伊藤園、アサヒカルピスビバレッジ㈱、関西キリンビバレッジサービス㈱

（2） 緑の募金による各種事業

いただいた緑の募金は、学識経験者等で構成する「緑の募金運営協議会」で審議（2/9 に開催）の上、事業実施希望者を公募するなどして、森林整備、緑化推進、緑の少年団活動等の森林環境教育、緑化や森林づくりの普及啓発等に活用した。

① 森林整備（542 千円）

・ボーイスカウトやガールスカウトが行う森林活動に対し、資材等の購入に必要な経費及び森林整備活動や研修の経費について助成した。

・21 年度の新規事業として、森林ボランティア団体等による府民参加型の森林整備・保全活動等を支援するため公募事業「豊かな森林づくり活動支援事業」を開始した。今年度は下記の 2 団体に助成した。

団体名	事業内容
保津町自治会	緑の少年団や町民によるシイの木 300 本植樹等
天王山周辺森林整備推進協議会	天王山マツ山再生のための学習会開催

② 緑化推進（3,926 千円）

ア　地域緑化

地域での緑化を推進するため、府内の老人クラブに委託して養成されたツツジ、アラカシの苗木 545 本と京都府緑化センターから購入した桜苗木 250 本を地域の団体に

無償配布し、公園や道路沿線、公共施設等に植栽した。

＜緑化樹委託先＞今山長春クラブ（南山城村）、船枝紫雲クラブ（南丹市）

＜主な配布先＞銘城台自治会、わち桜街道を作る会、今西中桜並木の会

イ　学校緑化

教育環境の整備と緑を愛し育てる心を育むため、府内の小中学校 22 校に対し、植樹木の購入等に要する経費に対して助成した。

学校名	学校名	学校名
京都市立紫野小学校	八幡市立男山第二中学校	南丹市立園部小学校
京都市立西大路小学校	木津川市立木津川台小学校	京丹波町立蒲生野中学校
京都市立小野小学校	木津川市立高の原小学校	綾部市立東八田小学校
京都市立嘉楽中学校	木津川市立木津小学校	舞鶴市立岡田下小学校
京都市立洛風中学校	相楽東部広域連合立和束中学校	福知山市立日新中学校
向日市立第２向陽小学校	亀岡市立安詳小学校	宮津市立府中小学校
宇治市立三室戸小学校	亀岡市立本梅小学校	京丹後市立神野小学校
城陽市立今池小学校		

地域緑化事業による桜苗木の植樹

学校緑化事業による植樹

ウ　緑化運動・愛鳥週間ポスターコンクール

京都府と共催で、府内小中高校の生徒等を対象に緑化及び愛鳥ポスターコンクールを実施した。優秀作品はイオンモール京都ハナ（京都市右京区）等で展示するとともに、表彰式を開催した。また、全国応募のポスター原画コンクールに応募した。

応募総数　緑化運動ポスター：200 校 1,394 点

愛鳥週間ポスター：202 校 1,494 点　計 2,888 点

最優秀賞等へ表彰状を贈呈

イオンモール京都でのポスター展

最優秀作品

古林千恵さんの作品

高瀬拓海さんの作品

麻田喜久さんの作品

真下星花さんの作品

エ　緑の少年団等育成

森林や緑の大切さを学ぶ緑の少年団活動を支援するとともに、今年度は第 20 回緑の少年団全国大会を京都で開催した。（別掲）

③ 地域での取組支援（緑の募金交付金）（10,015 千円）

地域の緑化推進団体（緑の募金支援団体）が、それぞれの地域で森林整備、植樹祭、緑の少年団育成等の森林や緑を守り育てる取組みを実施するための経費として、各団体の緑の募金実績の 75%を交付するとともに、緑の募金法施行規則第６条に基づき（社）国土緑化推進機構に中央交付金を交付した。

平成２１年度　緑の募金交付金一覧

交付先	交付額（千円）	主な取組
京都・乙訓緑化推進委員会	1,730	ﾎﾞｰｲｽｶｳﾄ・ｶﾞｰﾙｽｶｳﾄの森林整備活動 森林ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ団体活動支援、都市緑化、学校緑化、緑の少年団育成、森林整備・緑化推進啓発活動
山城ﾓﾃﾞﾙﾌｫﾚｽﾄ推進協議会	1,484	愛鳥モデル校活動助成、ﾎﾞｰｲｽｶｳﾄ・ｶﾞｰﾙｽｶｳﾄの育成、植樹助成等
(財)亀岡市都市緑花協会	958	苗木・ﾌﾟﾗﾝﾀｰ配布、花づくりｺﾝｸｰﾙ、緑の少年団活動
南丹・京丹波林業振興会	486	緑化樹の苗木配布
福知山緑化推進委員会	1,318	「心に緑を」事業、緑化樹配布、千年の森ﾒﾓﾘｱﾙ植樹祭、緑の少年団活動
舞鶴市緑化推進委員会	1,858	学校緑化、植樹祭開催、青少年の団体育成活動
綾部緑化推進委員会	513	苗木配布、緑の少年団活動助成、緑化樹配布
与謝地方林業振興会	436	地域の植樹活動支援、緑の少年団活動等
丹後地方林業振興会	141	緑の少年団活動等、学校緑化等助成
小計　９団体	8,924	
(社)国土緑化推進機構	1,091	

＜緑の募金交付金による取組＞

花の苗のプランター（亀岡市）

地域緑化活動（京丹後市）

緑の少年団の清掃活動

5 京都環境文化学術フォーラムを共催

2 月 13･14 日に国立京都国際会館で開催された、自然と文化を基軸とした新しい社会のあり方を考える「京都環境文化学術フォーラム」（主催：京都府、京都大学、総合地球環境学研究所、京都府立大学）に協会も共催し、セッションテーマの一つとして「モデルフォレスト運動」が取り上げられた。セッションでは、協会顧問の小澤普照氏が基調報告の後、協会理事の田中和博京都府立大学教授等により討論が行われ、モデルフォレスト運動の今後のあり方等が議論された。また、14 日には「KYOTO 地球環境の殿堂」が開催され、ノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マータイ氏らが表彰された。

6 緑の少年団全国大会の開催

7/29～7/31 まで第 20 回緑の少年団全国大会を京都府で開催し、全国の団員等 360 名が一堂に会して「京のゆめ　緑といっしょに　ひろげよう」をテーマに京都の豊かな自然環境の中での交流活動や共同生活を通じて、相互の理解と連携を深め、自然を愛し緑を守り育てる心を育

む３日間を過ごした。

府内 4 地域で 8 班に分かれて活動を実施し、京都府を代表する自然や文化に触れる活動を通し他府県の団員とも交流を深めた。最終日の交流活動発表会では、体験活動の内容や緑の少年団同士の活発な交流の様子を発表し、次期開催の青森県へと引継いだ。

宇治川周辺での野鳥観察

丹後和紙の紙すき体験

片波川源流の自然観察

天橋立松並木の保全活動

杉山自然観察

石臼による抹茶体験